

第 2 期 事業報告書

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

一般社団法人三陸駒舎

1. 事業の概要報告

今期は、馬を導入し、馬との暮らしを構築することに注力した。また、馬や古民家を活用した体験プログラムを提供し、収益事業の構築を進めた。

また、台風 10 号の襲来を受けて地域内で被害が及んだため、ボランティアの募集とコーディネートに務め、地域の復旧の一助とした。

2. 事業内容

(1) 馬との暮らしの環境整備

馬を導入し、馬と共に暮らす場の整備を行った。また、馬とのワークアウトを日々重ねた。

- 馬受入の準備（エサの保管場所の確保（荷物の整理など）、蹄洗場づくり、馬具、手入れ道具などの準備、エサ・敷料の確保、堆肥置き場整備、など）
- 周辺の畑の活用。いずれ、厩肥を活用し、馬耕で管理する。
- 馬の運動、乗馬の馴致

(2) 馬と暮らす民泊受入

古民家に宿泊しながら馬の世話など、馬との暮らしの体験を提供する。

釜石市 A&F グリーンツーリズム推進協議会と連携しながら実施。釜石市の養成を受けて Airbnb の活用や外国人の受入なども実施。

(3) 障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス）立ち上げ

障害児通所支援事業の立ち上げの準備を行い、将来的に障がいを持った子ども達へホースセラピーを提供する。今期は、申請の書類の整備、施設要件のクリアに向けた準備、児童発達支援管理責任者の採用活動を行った。

(4) 日帰り体験プログラムの提供

馬との出会い体験、引き馬、馬のお世話体験などの30分～半日程度のプログラム作成し提供した。地域内外の子どもから大人を対象に馬の力を活用しながら心と体のケアに資することができた。

(5) 馬とのふれあい体験の提供

年度当初、馬が運搬できるように軽トラを改造して、保育園・幼稚園、仮設の子ども達などへふれあい体験の出張を計画していたが、家畜運搬車を入手できることとなり、出張のプログラムの提供開始は12月からとなった。出張の提供が遅くなったが、活動拠点に招待することでプログラム提供を予定通り実施することができた。

(6) 森のようちえん「馬と古民家のまきば」

親子対象。子どもは未就学児を中心に対象とした日帰りプログラム。馬のお世話、古民家での暮らし体験（かまどでごはん作りなど）、周辺の散策など。被災地で過ごす子ども達のストレスを解消し、集まった親のゆるやかなつながりを構築することができた。障がいを抱える子どもを持つ参加も得られた。

(7) ホースセラピー勉強会、リーダーシップ研修会

ホースセラピー勉強会を2回、寄田を講師に勉強会を開催した。馬を先生にしたリーダーシップ研修会を小日向氏を講師に開催。座学と実技、体験プログラムの組み合わせで実施。

市内外の潜在的なボランティア・支援者の掘り起こしにつながった。また、三陸駒舎へのノウハウの蓄積を図ることができた。